

進化の年に

小野町議会議長 村上 昭正



あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、ご家族とともに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また昨年にも議会傍聴や議会懇談会などへのご参加など多岐にわたり我々議会に対し、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も平成になり30年という節目の年であり、時代の流れ、時の速さに驚きを感じているところでもあります。その間、高速交通網の整備、高度情報化社会への変貌など社会状況、生活環境が大きく様変わりし便利になった一方、急激な少子高齢化、人口減少などによる地方の衰退が顕著に表れてきております。

わが町においても同様であり、さまざまな政策を講じてはおりますが、さらに必要なのは人口が減少しても地域社会が維持できる戦略立案と実行が急務であると考えるところであります。議会の果たす役割も今以上に重要であることは言うまでもありません。

議会が推進している沖縄県石垣市の八重山農林高校と小野高校との交流事業であります。昨年、八重山農林高校の生徒たちが小野町に来町し、小野高校の生徒との絆を深める交流会を開催したところでもあります。南国特有の明るさを持った生徒たちに我々は実に爽やかな元気をいただいたような気がいたします。町民の皆さまのご理解をいただき、住民同士の交流も検討しながら発展的な事業展開ができればと望むところでもあります。

そのほか、未来を託す子どもたちも小・中学生ともにさまざまな分野で活躍しております。教育環境の整備については小学校の統合も含めて、子どもたちを第一に据えた取り組み検討が必要であり、議会といたしましても、重点議題としていくところであります。

私ごとにはなりますが、福島県町村議会議長会長の責務も重要でありまして、全国会長会の会議や政府への要望のとき原発事故の早期復興や風化対策、

風評払拭なども強く要請してまいりました。と申しますのも時間の経過とともに原発事故が福島だけの災害として矮小化するような風潮になってきているからであります。原発問題については国が責任を持って着実に課題解決に取り組んでいただく必要があると思っております。

いずれにいたしましても地方を取り巻く状況は厳しさを増しており、議会といたしましても議論を通して町発展のために、全議員一丸で取り組んでまいる所存でありますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまが今年一年素晴らしい年となりますようご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

小野町議会

議長 村上昭正

副議長 吉田康市

議員 佐藤 登

久野 峻

遠藤英信

水野正廣

龍田良作



田村弘文

宗像芳男

竹川里志

会田明生

渡邊直志

